

行政不服審査会

平成28年7月

- 1 . 不服申立制度の概要
- 2 . 改正行政不服審査法のポイント
- 3 . 審理・審査手続の流れ

1. 不服申立制度の概要

1. 不服申立制度の概要

< 行政不服審査法とは >

- ・行政庁の処分その他公権力の行使に当たる行為に関する不服を申し立てる制度についての一般法
- ・国、地方を問わず、行政庁の処分に幅広く適用され、国民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保することを目的とする

< 不服申立ての対象等 >

【対象】

行政庁の全ての処分・法令に基づく申請に対する不作為

【資格】

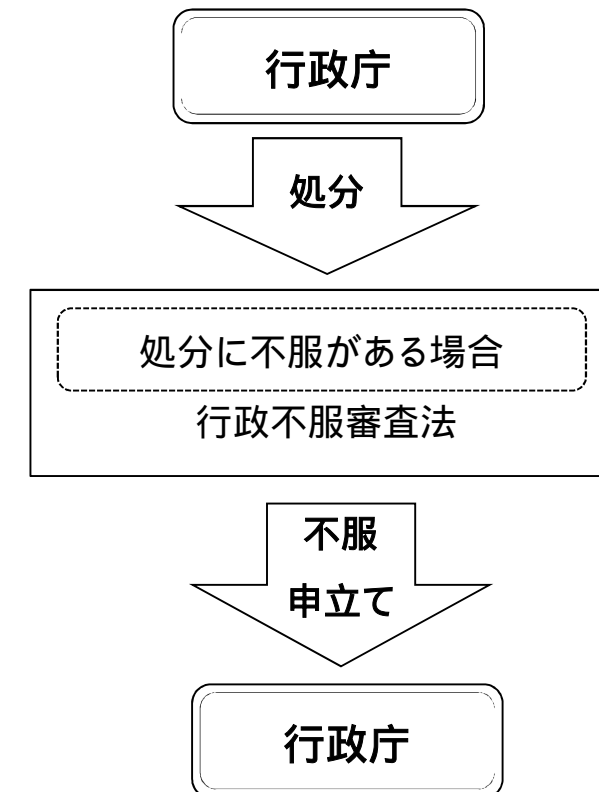
処分に不服がある者(不作為の場合は申請をした者)

【処理】

- | | |
|----------|------------------|
| 申立てが不適法 | 却下 |
| 申立てに理由なし | 棄却 |
| 申立てに理由あり | 認容 |
| ・処分の場合 | 原処分の取消し・変更 |
| ・不作為の場合 | 不作為が違法・不当である旨を宣言 |

< 行政救済の流れ >

(イメージ)

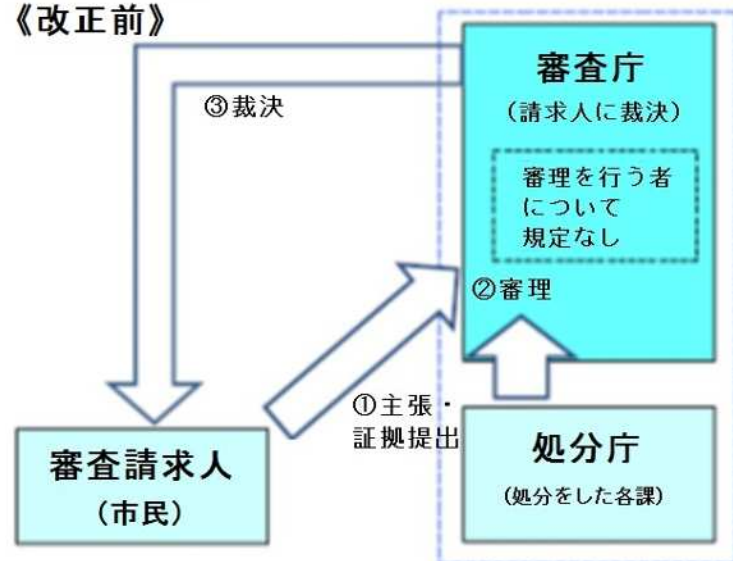


2 . 改正行政不服審査法のポイント

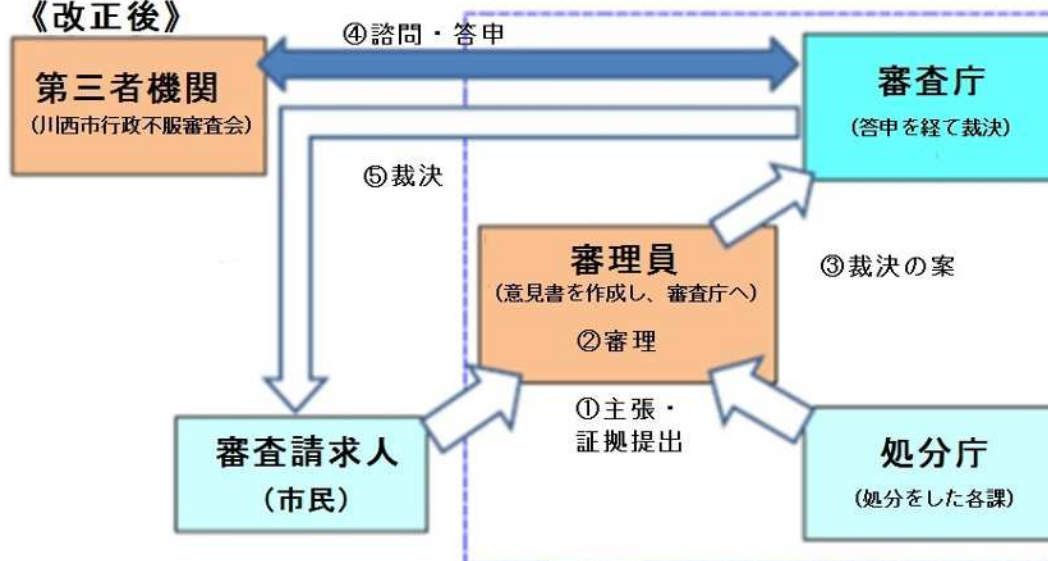
2. 改正行政不服審査法のポイント

< 審理・審査手続の変更 >

《改正前》



《改正後》



【主な事項】

原処分に参与していない審査庁の職員が審理手続を行う審理員制度の導入

第三者の立場から、審査庁の判断の妥当性をチェックする行政不服審査会への諮問手続を導入

3 . 審理・審査手続の流れ



3. 審理・審査手続の流れ

【諮問から答申まで】

